

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 4 日現在

機関番号：12102

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2009～2013

課題番号：21520362

研究課題名(和文) 近・現代の他者表象におけるエクゾティシズムの諸相に関する比較文学的研究

研究課題名(英文) A Comparative Study on the Exoticism in Modern and Contemporary Representations of the Other

研究代表者

平石 典子 (HIRAISHI, Noriko)

筑波大学・人文社会系・准教授

研究者番号：20293764

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円、(間接経費) 960,000円

研究成果の概要(和文)：当該研究課題について、「非西洋地域の近代化」と「エキゾティックな他者とジェンダー・セクシュアリティ」というテーマで研究を進め、研究期間内に著書7冊(単著・共著)を含む研究成果を発表した。中でも、『煩悶青年と女学生の文学誌「西洋」を読み替えて』(新曜社、2012年)は、明治の文学者たちが、西洋文学を読み替えながら新しい若者表象を形成する様相を追ったものだが、近代化の過程での日本文学が、文明の在処とされた「西洋」と、それ以外の地域に向けた異なるエクゾティシズムと、それぞれが仮託された「他者」像について分析・考察した。本書は第12回島田謹二記念学芸賞、及び第18回日本比較文学会賞を受賞した。

研究成果の概要(英文)：The representative researcher conducted the research focusing on the following two themes: "The Modernization of Non-Western Areas" and "Gender and Sexuality of the Exotic Other." The results of this research were published in various journals and academic books. Among them, "Angst-Ridden Youths and Girl Students in Modern Japan: Literary Reinterpretation of the West" (Tokyo: Shinyosha, 2012) is a work which pursues the fabrication of the New Youth in Modern Japanese Literature through the literary reinterpretation of the West, and won the 12th Shimada Kinji Memorial Award for Arts and Sciences and the 18th Japan Comparative Literature Association Prize.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学、各国文学・文学論

キーワード：比較文学 他者表象 エクゾティシズム ジェンダー セクシュアリティ

## 1. 研究開始当初の背景

H20年度までの「近代化の過程における女性表象の諸相に関する比較文学的研究」を進める中で、日本においては、西ヨーロッパと北米地域の女性表象の影響を強く受けた結果、「女学生神話」のような、新しい女性の表象が文学作品を中心とする言説の中に誕生したこと、また、そうした女性が活躍する舞台として、近代化の過程を歩む都市が設定される必要があったことを明らかにした。文学作品や当時のメディアの言説の分析を通して、都市と、そこに点在する、西洋の影響をうけた近代的な装置が、「女学生」の「墮落」といった、ネガティブな言説を補強することに一役買っていることもわかった。

一方で、非西洋地域として歴史的に「近代化＝西洋化」を経験し、しかもその「近代的」な女性像と「伝統的」な女性像の間に大きな隔たりがあった日本以外の地域の女性表象についても調査・考察し、海外の研究者とも交流をもつ中で、さらに興味深いことが見えてきた。近代化の過程であらわれてくる女性像は、いずれも「エクゾティシズム」を身に纏っているのである。西洋文学において、他者としての女性がエキゾチックに描写されることについては、そこにオリエンタリズム、帝国主義的なまなざしを見出すことが定説となっているが、非西洋地域におけるエクゾティシズムは、より複雑な様相を呈している。近代化した地域から伝統的な地域を見る際の、帝国主義的なまなざしを孕んだエクゾティシズムと、近代化した地域から、「文明」の拠点とされていた「西洋」地域を見る際のエクゾティシズムである。この二つのエクゾティシズムの共存については、比較文学の分野においては、これまであまり研究されてこなかったが、チュニジア(2004年)、オーストラリア(2005年)、ブ

ラジル(2007年)、ウズベキスタン(2008年)で研究報告をし、議論を重ねる中で、この視点からの研究の必要性を強く感じるようになった。

そこで、この研究を発展的に継承する形で、「近・現代の他者表象におけるエクゾティシズムの諸相に関する比較文学的研究」に取り組むこととなった。

## 2. 研究の目的

本研究は、文学作品を中心としたテキストに描き出された他者表象を分析し、そこにあらわれたエクゾティシズムの諸相を考察することによって、近・現代における社会の変化と他者表象との関連性を突き止めるとともに、その意味及び意義を、比較文学的視点から精緻に解明することを目的とした。その際、「近・現代」を研究の射程としているため、19世紀以降21世紀まで、主に20世紀のテキストを取り扱うこととした。研究期間は5年、という長期を設定したが、これは研究協力者の協力のもとに、継続的にその成果を発表していくことを目的としたため、研究期間内に、国際比較文学会の大会が2回開催され、3つのパネルで3本の研究発表を行った。

研究対象となる地域は、日本を中心としたが、日本のテキストに大きな影響を与えた西ヨーロッパ・北米地域、さらには非西洋地域として歴史的に「近代化＝西洋化」を経験した日本以外の地域の他者表象におけるエクゾティシズムと比較対照することにより、研究に比較文学的な視野の広がりを持たせるようにした。

## 3. 研究の方法

本研究は、19世紀以降現代まで、主に20世紀(日本の場合は明治中期以降から昭和年間にあたる)に出版された一次資料の調査、読解と綿密な分析のもとにおこなわれた。研究課題としては、以下の2点を設



〔学会発表〕(計 21 件)

Hiraishi, Noriko, “Modernization and the Transformation of Cultural Memory: Representations of Mermaids in Meiji Literature and European *Fin-de-Siècle* Art,” Paper presented at the Freie Universität Berlin – University of Tsukuba Joint Workshop, *Continuities and Ruptures of Modernization: Perspectives on Japan’s Modern Transformation*, Free University of Berlin (Germany), 26 March 2014

平石典子、「翻案と日本文化 少女マンガを例として」招待講演、大妻女子大学比較文化学会 第15回総会、大妻女子大学多摩キャンパス、2013年10月10日

平石典子、「埃及への道 明治文学における異国趣味をめぐって」Paper presented at the XVth Europäische Japan Diskurse, *Michi/dô---the “Ways” in Japanese Culture*, University of Bucharest (Romania), 14 September 2013

Hiraishi, Noriko, “Girls and the Bande Dessinée: Jenny’s *Pink Diary* and European Shōjo Manga in the 2000s,” Paper presented at the 20<sup>th</sup> Congress of the International Comparative Literature Association, University of Paris (France), 19 July 2013

平石典子、「近代文学における自意識—テキストの読み替えをめぐって—」第11回北京大学・中国人民大学・筑波大学3大学合同フォーラム、中国人民大学(中国)、2013年6月16日。

平石典子、「世界文学としての日本文学—翻訳をめぐって—」、2012年キエフ国立大学・筑波大学日本研究学術フォーラム、キエフ国立大学(ウクライナ)、2012年11月27日

平石典子、「現代文学における人物設定

と文化的文脈—呼称とその翻訳をめぐって—」、第10回北京大学・中国人民大学・筑波大学3大学合同フォーラム、筑波大学、2012年11月11日

Hiraishi, Noriko, “Poetic Imagination in Shōjo Manga: Ray Bradbury through Moto Hagio’s Eyes,” Paper presented at *Crossing Boundaries: International Symposium on Comparative Literature*, Kanagawa University, Yokohama, 11 June 2012

平石典子、「日本近代文学と翻訳」第9回国際学術会議「文明のクロスロード—ことば・文化・社会の様相—」基調講演、サマルカンド国立外国語大学(ウズベキスタン)、2012年3月15日

Hiraishi, Noriko, “Fallen Landmark and Imagination: the Ryōunkaku in Modern Japanese Literature,” 台湾国立政治大学尖端大学プロジェクト「ネーション・影像・空間 - 東アジアトランスナショナル・モダニティ」、台湾国立政治大学(台湾)、2011年12月11日

平石典子、「近代における語りとジェンダー—太宰治の「女語り」を例として—」タリン大学・筑波大学日本研究学術フォーラム、タリン大学(エストニア)、2011年12月6日

平石典子、「エスニック・マイノリティとジェンダー—20世紀初頭の「宿命の女」表象をめぐって—」シンポジウム「20世紀のマイノリティ表象を読み解く—エスニシティ・異界・ジェンダー—」日本比較文学会第32回中部大会、名古屋大学、2011年11月26日

平石典子、「女性作家が見た近代化—大塚楠緒子の場合—」第9回北京大学・中国人民大学・筑波大学学術フォーラム、北京大学(中国)、2011年11月5日

Hiraishi, Noriko, “Japanese Literature and

the Fin-de-Siècle Imagination: Women Writing at the Beginning of the 20<sup>th</sup> Century,” Paper presented at *Crossing Boundaries: International Symposium on Comparative Literature*, Kanagawa University, Yokohama, 11 June 2011

平石典子、「「女語り」と「女の語り」—近・現代文学における少女の声をめぐって—」2011年 若手研究者の合同研究フォーラム—東アジアにおける日本研究と日本語教育—、台湾国立政治大学（台湾）、2011年5月21日

平石典子、「明治のパオロとフランチェスカ—ワッツの絵画から漱石『それから』へ—」日本比較文学会東京支部1月例会、大正大学、2011年1月29日

平石典子、「エクゾティシズムと日本文学—現代文学を中心に—」2010年中国人民大学・北京大学・筑波大学日本語文学フォーラム、中国人民大学（中国）、2010年11月6日

Hiraishi, Noriko, “Empathizing with Dante and D’Annunzio: Italian Literature in Meiji Japan (1868-1912),” Paper presented at the 19<sup>th</sup> Congress of the International Comparative Literature Association, Chung Ang University (Korea), 19 August 2010

Hiraishi, Noriko, “The Quest for “Modern Love” in 1920s East Asia through the Reception of Ellen Key’s Works,” Paper presented at the 19<sup>th</sup> Congress of the International Comparative Literature Association, Chung Ang University (Korea), 16 August 2010

平石典子、「日本近代詩と音楽—1920年前後の北原白秋と三木露風—」東亜詩学与文化互読国際学術検討会、天津師範大学（中国）、2009年10月25日

21 Hiraishi, Noriko, “Delving into Homogenised Urban Lives: Cultural Context in

Contemporary Japanese Literature,” Paper presented at the JSAA-ICJLE 2009, University of New South Wales (Australia), 15 July 2009

〔図書〕(計 7件)

平石典子、新曜社、『煩悶青年と女学生の文学誌—「西洋」を読み替えて』2012年、358頁。

平石典子、上海：上海古籍出版社、王晓平主編『国際中国文学研究叢刊』第1集、2011年、分担「日本近代詩興音楽—1920年前後の北原白秋興三木露風（勾艶軍訳）」70-80頁。

平石典子、彩流社、日本比較文学会編『越境する言の葉—世界をつなぐ日本文学』2011年、分担「ヨーロッパの少女マンガにおける「日本」—*Yonen Buzz* と *Pink Diary* を例として—」297-308頁。

Hiraishi, Noriko, Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, Inaga, Shigemi. (ed.) *Artistic Vagabondage and New Utopian Projects: Transnational Poietic Experiences in East-Asian Modernity (1905-1960)*, 2011, 分担“The Quest for “Modern Love” in 1910-20’s East Asia through the Reception of Ellen Key’s Works,” pp. 13-25.

平石典子、思文閣出版、増田裕美子・佐伯順子編『日本文学の「女性性」』2011年、分担「少女とロココ—「女生徒」における少女 表象—」、27-44頁

平石典子、北京：中華書局、王晓平編『東亜詩学与文化互読——川本皓嗣古稀紀念論文集』2009年、分担「浪漫装置的詩歌——近代日本の接吻表象（姚紅訳）」、76-91頁

Hiraishi, Noriko, Rio de Janeiro: Aeroplano, Coutinho, Eduardo F. (ed.) *Identities in Process: Studies in Comparative Literature*, 2009, 分担 “Degenerate Flâneuse: Contradictory Images of Urban New Women in Modernizing Tokyo,” pp.357-366.

6 . 研究組織

(1)研究代表者

平石 典子 (HIRAISHI, Noriko)

筑波大学・人文社会系・准教授

研究者番号：20293764